

あ・ら・伊達な道の駅が 重点「道の駅」に選定されました

東北有数の道の駅へ

岩出山地域池月地区の「あ・ら・伊達な道の駅」は、平成8年の中学校統合により廃校となった旧一栗中学校跡地の活用策として、地元住民の皆さんと旧岩出山町が協議を重ねた末、平成13年にオープンしました。

24時間使える駐車場やトイレ、交通情報の提供など、道路利用者の利便性の確保はもちろん、地域住民の主体性を生かした顔の見える安全で新鮮な農産物や農産加工品の直売、地域の住民が起業したパン工房、そば工房、手工芸品などのテナントのほか、なかなかお目にかかれない姉妹都市の特産品の販売、レストランや軽食コーナーなどでスタートしました。

池月地区は、国道47号、108号、457号が交差し、鳴子温泉地域や山形県、秋田

県へとつながる「交通の要衝」であるという地の利を生かした地域振興策が功を奏し、それまで通過点であった池月地区へ足を止めさせることに成功しました。

地域に根差し、地域住民とともに磨き上げてきた取り組みが、少しずつ人から人に伝わり、年間約300万人の人が立ち寄る、東北でも有数の道の駅として知られるようになりました。今では、この道の駅を旅の楽しみにやって来る人がたくさんいます。

人が人を呼び、賑わいがさなる賑わいをつくることで、地域に仕事が生まれ、経済を活性化し、地域コミュニティの振興にもつながってきました。

県内唯一の 重点「道の駅」に選定

去る1月30日、あ・ら・伊達

な道の駅が、「重点「道の駅」に選ばれました。

重点「道の駅」は、地方創生の拠点としての機能を充実させていくため、国土交通省が優れた取り組みを行う道の駅を選定し、重点的に応援していくとする制度で、全国1040の道の駅から、35施設が選ばれ、県内では唯一の選定となりました。

今回、重点「道の駅」に選定されたことで、あ・ら・伊達な道の駅がこれから力を注いでいくのは主に次の四つです。

■観光機能の充実

これまでの、景勝地などを「見る観光」に、地域の歴史や文化など「知る観光」をプラスした、新しい観光ルートや観光商品の開発、インバウンド（海外観光客の誘致）を促進するため、外国語に対応した観光案内機能の充実など。

■地域福祉の向上

地域の高齢者が生きがいや

やりがいを感じながら、その活力を生かせる場や、交流機会の創出など、地域福祉を向上させる取り組みなど。

■防災機能の充実

防災拠点として機能するための発電機、受水槽、物資保管庫の整備など。

■利便性の向上

駐車待ち渋滞の緩和に向けた、駐車場の拡張や交差点の改良、道路整備など。

あ・ら・伊達な道の駅 だからこそ

人口の減少が進むいま、地域を活性化させるためには、交流人口をいかに増やすか、また、その人たちに、いかに移住・定住してもらうかが力ギとなります。そのためには、自分たちが地域の宝であると認める観光資源や歴史・文化・風土といった魅力をいかに伝えるかが重要であり、同時に、

訪れた人と地元の人との交流が、その地を一層印象付け、心に残る魅力あるものにしていきます。

地域の皆さんと共に築き上げてきた道の駅だからこそ、人口減少社会においても果たせる役割があります。重点「道の駅」として、地方創生の一翼を担い、ひとつ上のステージへと進む、あ・ら・伊達な道の駅に、一層の期待が寄せられます。

何度でも行きたくなる 日本一の道の駅を目指します

重点「道の駅」に選定され、まずは、観光に力を入れていくことにしています。

5月には、中国語と台湾語を話せる人を社員に迎え、海外からのお客様に対応する仕組みを作っていきます。また、市内それぞれの地域ごとに展開してきた観光をつなぎ合わせられるよう、お互いに知恵を出し合いながら連携していきたいと思っています。



あ・ら・伊達な道の駅指定管理者
池月道の駅 代表取締役
遠藤 悟さん

アンケートによると道の駅を訪れる人のうち6割の人は、産直の新鮮な野菜を求めてやってきます。在庫管理システムにより、常に品物の在庫状況が生産者へメールで通知され、いつでも採りたての新鮮な農産物が補充されています。70代以上の生産者も、自分の商品が売れ、日々、忙しくしていただけることは、生きがいであり、元気の源となっているようです。

地域の皆さんに信頼され、誇りに感じてもらい、他に行っても自慢してもらえる道の駅であり続けることが、巡りめぐってお客を増やすことにもつながります。これまで地道に築いてきた地域のコミュニティや人とのつながりを大切に、売り上げ日本一ではなく、何度でも行きたくなる日本一の道の駅を目指して、地域の皆さんと共に魅力の創出に努めていきたいと思えます。



姉妹都市北海道当別町に本社を構えるロイズのチョコレートが、北海道内や空港免税店以外で店頭販売されているのは、あ・ら・伊達な道の駅だけです。そのロイズの売り場が、4月18日から、これまでよりも広い売り場となり品揃えも充実しました。また、あ・ら・伊達な道の駅では、姉妹都市愛媛県宇和島市の真珠の装飾品や柑橘類も取り揃えています。



3月22日、岩出山地域の一栗体育館を会場に、『あ・ら・伊達な道の駅 重点「道の駅」選定記念シンポジウム』が開催され、冒頭、国土交通省から市に重点「道の駅」選定証が授与されました。

記念講演会が行われたほか、パネルディスカッションでは、地域住民、鳴子温泉郷観光協会、出荷組合員、地域づくり関係者、お客様（ファン）というそれぞれの立場で道の駅に関わる皆さんから、これからの道の駅に望むことや自分たちがどのように関わっていくかなど、日本一の道の駅を目指した意見交換が行われました。



道の駅の一部には、小さなステージがあり、市内外で芸術・文化活動に取り組むプロ、アマを問わない個人や団体のパフォーマンスが華やかに繰り広げられています。

道の駅としては賑わいづくりである一方、ステージに立つ人たちにとっては、多くのお客さんを前に成果を発表できる貴重な場となっています。ステージ利用に関する問い合わせは、池月サポートセンター（☎78-2787）担当の今野さん（☎090-4886-5084）へ連絡してください。



あ・ら・伊達な道の駅の目玉である産直コーナーには、岩出山産の新鮮な農産物や農産加工品が所狭しと並び、土・日曜日ともなれば、すれ違うのも大変なほど人で賑わっています。レジと連動して、生産者にメールで販売状況が届くシステムを導入しているため、生産者は、必要に応じて採りたての新鮮な農産物を補充しています。

☎ あ・ら・伊達な道の駅 ☎73-2236
ウェブサイト <http://www.ala-date.com/>